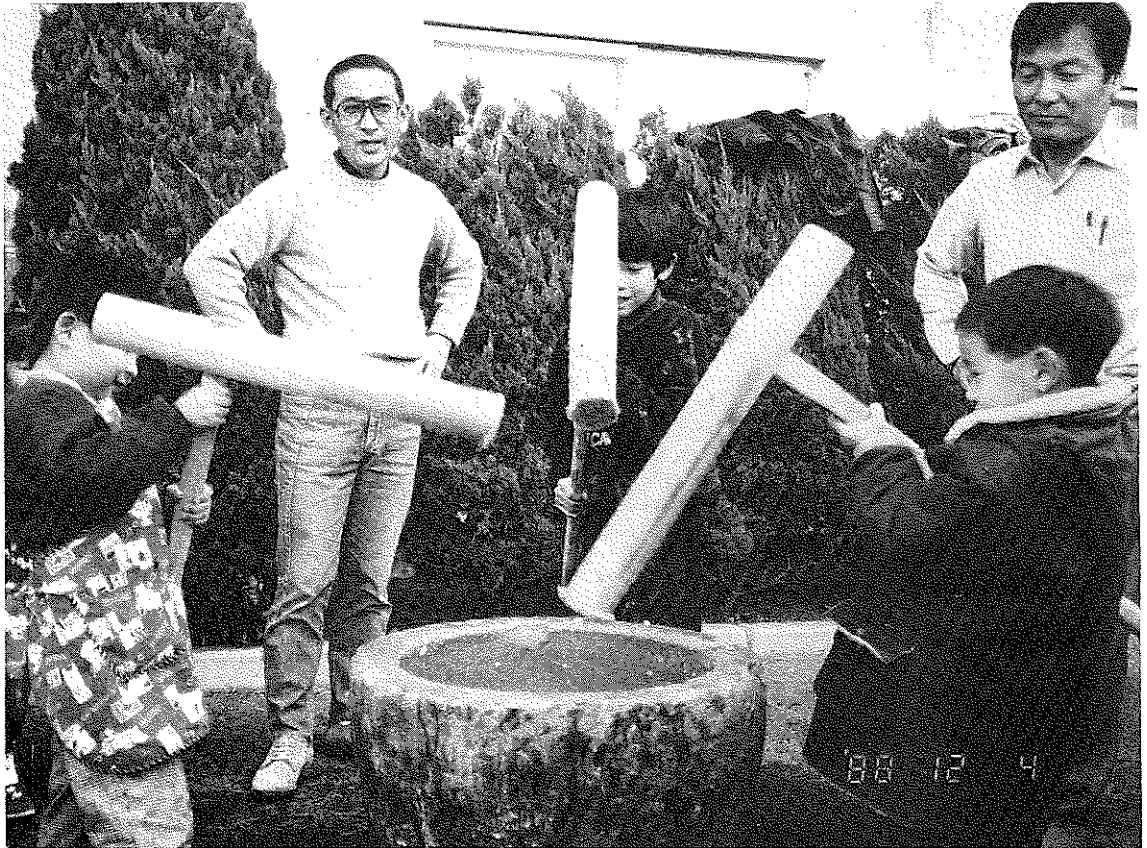


社団法人



長崎青年協会

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION



もちつき大会 (女の都 老友荘にて)

長崎青年協会憲章

我々は、会員の団結と相互扶助の精神の基に、自己の建設と会員の親睦を図り、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

今月の行事

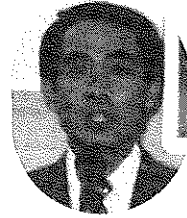
- 4日 もちつき大会
忘年懇親会
- 7日 理事会
- 28日 事務局
御用納め

NAGASAKI
YOUNG GENERATION
ASSOCIATION

MONTHLY **12** 1988 DECEMBER
STYLE NO. 114

十一月例会

江村会長挨拶



皆様、こんばんは。

月日が経つのは大変早いもので、今年もあと一ヶ月と僅かになってしまいました。会員の皆様には、公私共に一番忙しい時期になることでしょう。風邪などひかれないように、この年末を乗り切ってください。

先月の臨時総会において次年度の会長予定者に野上林八郎君が選出されました。現在、野上君は来年の組織作りががんばっているようです。私と致しましても大変気掛かりな部分でもありますが、役員の指名が、ありましたならば是非心よくお引き受け載き、組織作り並びに活動に積極的にご協力載きますように、私か

日時 昭和63年11月21日
場所 ホテルニュー長崎

らもこの場を借りまして、
お願い致します。

さて、十一月一日、青年協会は長崎市教育委員会の功労表彰を載きました。この表彰は、長崎の教育や文化の発展に貢献のあった個人と団体に贈られるもので本年は十一個人と三団体が表彰を受けました。青年協会は、昭和四十七年から十七年間継続して実施しております十一月三日文化の日の文化財清掃が高い評価をうけたものでございます。今後ともこの活動は青年協会の伝統として受け継がれて行かなければならないものだと考えております。

を深めていただきたいと企画致しました。又、今日の講師には、長崎大学助教授の宮崎正明先生をお招きして「子供の心が見えますかー子供の心理を理解した子育て」という演題でお話をお伺いするのも、目的を得たものであろうかと思えます。この例会の後には懇親会も予定致しておりますので、そちらの方にも是非、御出席下さいますよう御願致します。



夫人同伴例会

十一月誕生者

- 事務局長 野上林八郎君
- 総務委員会 吉田 忠和君
- 事業 内野 康文君
- 国際交流 井原 伸二君
- 企画 木下 政幸君

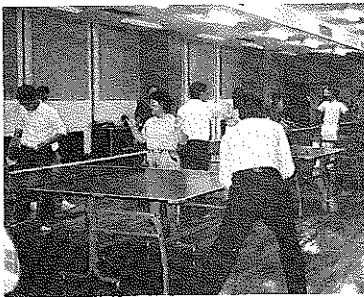
みなさんお誕生おめでとうございます。

委員会報告 企画委員会

卓球大会開催

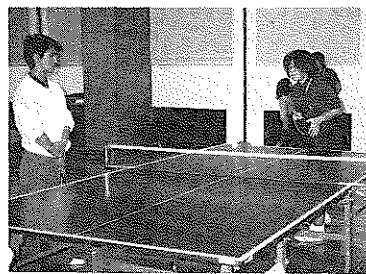
11月16日 (火) 市民会館

の卓球室で、家族を含めた卓球大会を、開催致しました。卓球室が、青年協会の貸切にならず、進行がうまくいかなかった事を、参加選手に申し訳ないと反省しております。試合の内容は、卓球には程遠いものでしたが、かなり白熱した試合が多かったようです。さらに、某副会長のお嬢さんの卓球姿、某委員長のお嬢の剛腕、試合に熱中するあまり自分の子をふみつけた某委員長、



熱戦風景

その他色々な事があり、楽しい時間を過ごせたと思います。参加していただいた家族の方々、ありがとうございました。



現役選手も参加

次に、本年度は、もう一度、家族懇親の意味を含めて、委員会対抗バスケットボール大会を、開催します。

日時 2月5日 (日)
場所 十八銀行記念体育館

開始時刻、その他詳細の事は、これより決めていきますが、日時、場所だけは決定しております。子供達も遊べる場所を作る予定にしておりますので、多数の参加を、お願いいたします。

講師講演(要旨)

長崎大学助教

宮崎 正明氏

子どもの心が 見えますか。

今月は、「子どもの心理を理解した子育て」というテーマで、宮崎正明先生に御講演を頂きました。

《プロフィール》

昭和四十一年三月、長崎大学教育学部小学校教員養成課程を卒業後、小学校教員を三年間行う。

長崎大学、広島大学、広島大学大学院において専門の勉強を重ねられ、昭和四十九年四月より広島県ひじ山女子短期大学講師として三年間教壇に立たれました。昭和五十二年四月、母校である長崎大学において講師になられる。

昭和五十五年四月、長崎大学教育学部助教となられ現在に至る。



宮崎先生

現在、いじめの問題、登校拒否、家庭内暴力、校内暴力などが大きな社会問題としてクローズアップされています。そのような色々な問題をどうとらえて、親として教師として、どう対応したらいいのでしょうか。私たちは、子供の現象だけをとらえがちですが、行動の裏にひそむ子供の心理をもっともつと理解すべきだと思います。それによって子育ても学校教育も、効果が発揮されるのです。最近では家庭教育の低下ということがよく言われますが、問題が起こる前に、子供たちの将来を見こして、どう育ててゆくかということにスポットを当てるべきだと思います。

まず、現代の子が育った時代を把握してみると、60年代〜70年代の高度成長経済にもなつて、生活が向上してくると、基本的な生理的な欲求だけでなく、自己開発欲求(レジャーニーズ)が発生してきます。余暇の充実が求められてきます。現代の子供は、豊かな物質文明の中で生まれてきますので、「自分専用のもの」へのニーズが高いわけです。半数が個室を持っていますし、あらゆる物も持っています。子供は社会の影響をうけて育っていくわけで、親たちの育った時代とは違うので、考え方、価値感も興味のあり方も異なります。では子供の行動の原動力となつているニーズとは何なのでしょうか。子供には社会生活の中で自我に関して生じる欲求があります。認められたい承認の欲求、愛情の欲求(スキンシップ)、存在感を充す所属の欲求、心を安定させるためにこの三つの要素が必要となりま

す。それから年令が高くなつてくると独立の欲求(依在から自立)、達成の欲求(好きな事を成しとげたい)それに新しい経験の欲求、(好奇心、意欲が強くなる)が表われます。この三つは力の欲求で、前述の安定のニーズと力のニーズが基本になつていきます。このニーズを家庭生活の中でふまえて、コミュニケーションをはかられると良いでしょう。これらのニーズが充されないとき、ストレスがたまつているような問題が生じてきます。環境の変化や、生活疲労、成績、人間関係、学校、家庭の二重拘束、集団生活の拘束、興味の無い授業の強制、孤独感、親の養育態度、通学が遠いなどの物理的条件、これらのストレッサー(ストレスの原因となる刺激)によつてさまざまなストレス反応が出てきます。初期には食欲の低下や過食、無気力や集中力の欠如などが表われます。これらは親への信号なので

す。これが進むと、非行や登校拒否、心身症などが表われますので、初期の頃に子供の心を安定させるように務めた方が良いでしょう。それではストレスを解消するためのカウンセリング技法としては、まず子供と共有の時間をたくさん持つこと。二番目に子供に関心を示して、よく質問することです。子供の行動に関心を持つことです。次に子供の立場に立つて、受け入れて、繰り返してあげます。四番目は、子供の言動をまず認めてあげることです。五番目には、情報を提供しよく話をする。六番目には子供に親の自己開示をする(例えば親の経験談や考え)七番目に、時には指示や説得をして方向づけをしてあげて下さい。おこるのではなく論理的に対応することです。子供とスキンシップを充分に取り、よく対話して、子供の心理を理解して子育てをしていただきたいと思ひます。

特別企画インタビュー

ボランティア活動に掛ける

長崎県ボランティア協会公長

山本 いま子さん



山本会長

S 54年 長崎大学にて社会教育を学ぶ。

S 54年 長崎市北部「ボランティア推進会」を設立

S 55年 会長に就任。

S 57年 「長崎県ふれあいのまちづくり」県民運動推進本部常任委員。

S 59年 長崎県社会福祉審議会委員。

S 60年 長崎市社会福祉評議会委員。

S 61年 長崎県ボランティア協会設立。会長。

今回の特別企画インタビューにご登場いただいたのは、長崎の福祉活動にたずさわられている山本いま子さん、福祉についての問題など、いろいろお話を伺いいたしました。

●プロフィールの中でわかりませんが、最終的には長崎県ボランティア協会を設立されていますが、
★私自身「ボランティア」という言葉にこだわって生きていく訳ですが、それではもつと学ばなければ、助けを必要とする人の気持ちや理解できないのじやないかと思ひ、北部推進会を設立した次第です。それから活動を展開していく中でボランティア自身が主体性を活かしながらやっていかなければ、ただのお手伝い的なものになるといふ思いが

ありました。そして、いろいろなケースに出会いますと、こうして個人的にボランティア活動をやっていても、個人の力には限界があると思ひまして、やはり組織を抜けていく必要があると思ひ、また、「学びと実践の統合」といいますか、基本的な理念として持つておりましたから。そして、すそ野を拡げる意味もありましたし。それから最も大切なことは県下のボランティア活動をより一層推進し、会員相互の連携と親睦をはかり、こころ豊かな潤いのあるまちづくりをめざすことにある訳です。

●活動状況などお聞かせ下さい。
★活動と言ひましても協会自体が活発な活動をしていく訳ではないのですが、位置づけとしては、いろんなボランティア活動の延長に協会があるわけですから、そこでは、いろんな問題に対して話しあつたり、情報交換の場であつたりしております。

す。それと個々の相談にアドバイスをしてあげたり。私がおもうに、活動の原点としては、まず人々とのふれあいが大切だと思ひます。そして場づくりだけではなく、それを作つて行くプロセスが大変な訳です。ですから福祉講座を学ぶのではなく、生きていく社会の生活の学びが大切ではないかと思ひます。それから、ふれあいだけの活動では喜びだけで終わるんですけど、ひとつひとつのケースを考えますと、とても重いものがあるのです。泥にまみれる部分と言ふのもあるわけですし、そんな中で協会というものが、重要な場であると思ひます。
それから、ボランティア活動とは命をみつめ、単に奉仕活動というのではなくその人が活かされ、またやる方も、その人によつて活かされるという人間関係にある訳です。要するに心を拡げていくことを運動の中で感じていきます。

●最後にありますが、他団体への要望など……。
★現在のところは、手をつないでやっていきたいと思います。ということですが、

お年寄りと共に 青年協会恒例もちつき大会

女の都ハイツ 老友荘にて 開催

12月4日、朝8時30分。

「今日は例年より暖かくてよかもちつき日ばい。」などと話しながら、会員やその家族が続々と集合してくる。今年には昨年より20kgも多い90kgのもち米をつき上げると聞き、「ゾォー」としたが、長崎大学留学生9名、国際協力事業団研修生10名の参加を得、総数100名の方で、もちがつき上がる。次々とつき上がるもちを、おばあちゃん達が、一生懸命、丸めてくれる。



おもちを丸めるおばあちゃん

最後のひとつすを、ゆとりもちとして、老友荘特製のぶた汁と共に、全員で舌鼓を打った。

つき上げたもちは、留学生や会員と、市内の児童福祉施設、明星園、マリア園浦上養育院へプレゼントした。



さあ、もうひといき

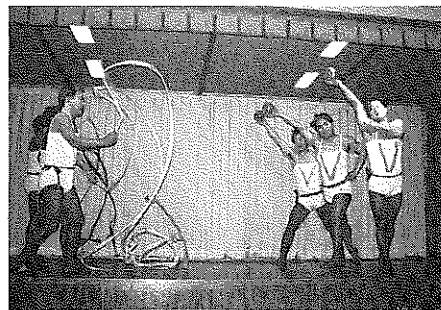
忘年懇親会開催

去る12月4日、本年度の

長崎青年協会忘年懇親会は本石灰町、料亭「松亭」にて盛大に慣行されました。

会長挨拶、OB諸兄の御紹介の後、お待兼ねの委員会対抗大演芸大会の開幕です。各々、工夫を凝らし、

万全の準備と厳しい練習を重ね本番に臨んだとみえ、ヘルスセンターの座長大会を思わせる程の盛り上りをみせ、万来の拍手も終始なり止みませんでした。…中には、意気込みだけは感じられたチームもありました

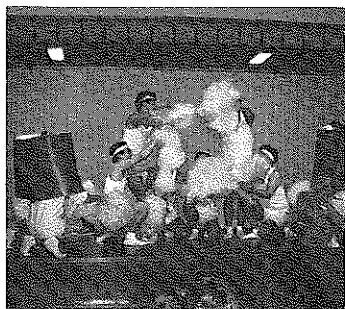
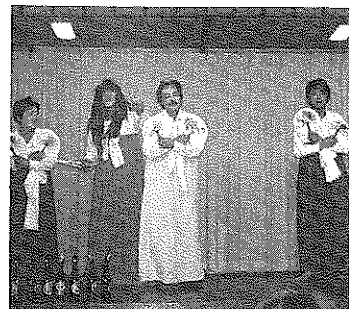


優勝の企画委員会

が…。結果は優勝が企画委員会、そして広報、総務の順でした。次に、これまた有史以来の伝統行事、ペーロン大会で一段と盛り上がり楽しい忘年懇親会の夜が過ぎました。

OB11名、現会員80名という青年協会発足20周年にふさわしい、多数の方の出席によって今年最後の事業も無事終わりました。

皆さん、今年一年間御苦労様でした。また来年も頑張りましょう。



ゴルフ同好会

幹事 金田芳裕

池田郁志

去る11月13日(日)この時期にしては、珍しく汗ばむほどの晴天に恵まれ、第5回江村会長杯ゴルフコンペを滑石ゴルフ場にて開催いたしました。丁度、OBのスローピッチソフтбоール大会と重なり、参加者は11名と、寂しい大会となりましたが参加者にとつては又とない優勝のチャンスに皆さん奮闘されました。

釣り同好会

田代博昭

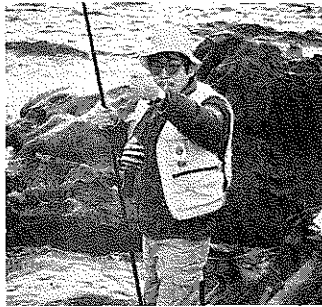
釣り大会日が近づくにつれ、天気は下り坂へ向かっている。予報では波浪注意報のようだ。どうしようかと迷いながらみんなに相談すると、釣り大会を延期し、今回は同好メンバーによる釣行とし、予定を早目、11月20日(日)に決定した。当日集合場所へ行くと、早朝にもかかわらず目を輝



参加者スナップ

OUTではデフェンディングチャンピオンの船越君と、それを杉本君、塩田君、新井君、OBで唯一人参加された松尾浩先輩が、1打

差の中にひしめきあうというデッドヒートを展開しました。INに入ると昼食のビールが功を奏した人、又その逆に緊張の糸が切れた人と、明暗を分けたようです。結果は、1Nで6オーパーの42でラウンドした松尾浩先輩が優勝。準優勝には、同じ組で回った杉本君。3位は新井君でした。次回は、来年1月中旬に喜々津カントリークラブで予定しております。皆様、多数の参加をお待ちしております。



サンパソウを釣り上げた岩崎君

かした5人が揃う。北西の季節風が吹いているものの香焼深浦港を出港し、無事目的地、伊王島口ノ瀬に着いた。早速ウイスキーにて今日の安全と大漁を願って乾杯し、ニコニコ顔でマキエを打ち第一投。クロが釣れる筈だが? 「アレイシモチ(ネンブツダイという小魚)が釣れたぞ!」 つぎも、つぎも、日が明るくなるにつれその数は増すばかり。ここでみんなの顔にポ

いとズ不安が過ぎる。しかしそういう状況の中で、岩崎君が小さいながらも、サンパソウ(石鯛の子)を2枚あげる。さあ、これから

トピックス

表通りの街並が、XマスキャラメルとXマスセールを始めたせいか師走独特のにぎやかさを私達に感じさせてくれます。12月25日は、キリストの生誕の日です。さだかではありませんが、生誕後30年程してから始まったようです。皆さんのXマスはどう過ごされるのでしょうか?二人だけのXマス、ファミリーのXマス、さみしい一人のXマス...

懇親会報告

去る11月21日の懇親会は、「低料金システムで、楽しく歌って、洋酒飲み放題のお店!」 歌泥棒で行ないました。

本石灰町5-12
TEL 25-9726

